

戸村ゆうじ3つの約束

Mission(果たすべき使命)

ひとだすけはまちづくり、暮らす人の幸せが一番

「近き者説(よろこ)び、遠き者来たる」。第七次中井町総合計画では、町民の幸せに見える化し、向こう10年の方向性を定めました。ひとだすけとまちづくりをつなぎ、そこに地域づくりを直結し、あらゆる政策の根本に置き、助け合いの愛の町をめざします

Vision(実現したい未来)

なかいの真価を引き出し、次世代につなぎます

中井ならではの暮らしを維持していくため、農業振興、環境保全、減災対策、産業振興、文化政策等を総合的に取り組むことで、里都まちの真価を引き出し、育みます。お一人おひとりの生きがいと、人と人とのつながりを大切に、持続可能なまちづくりを推進します

Value(約束する価値や強み)

公僕(パブリック・サーバント)を貫く

「かかわる、わかる、かわる」によって、町民の皆さまとともに歩み続けます。町民の皆さまに仕える公僕として、しがらみなく、透明性、公平性を貫きます。公務の質を高め、「迅速、正確、親身」でお応えする町役場を確立します

着実な歩みから
確かな飛躍へ

中井町長
戸村ゆうじ 58歳



HP&SNS入口

「生活密着ダイジェスト」でお届けします
今回のパンフレットでは、戸村ゆうじの「公約進捗状況と4年間の実績」と「政策ユニバース2」から、暮らしや身近な内容を厳選し、わかりやすくお伝えします。全体はホームページなどからご覧いただけます。

戸村ゆうじの目指すもの(生活密着ダイジェスト)

若者・教育

返還不要の奨学金 & 学校施設改善の継続

高校生・学生向けの返還不要な給付型奨学金を創設。働き暮らせる中井町を拡充します。学校施設の修繕・改良は継続して進める中、学校のあり方検討を着実に進めます

メリット: 若者が暮らし、活躍する中井を展開します!

健康・子育て

がん検診補助拡大 & ネウボラ体制強化

尿によるがん検査の導入や人間ドックの補助金を拡充により、健康づくりを応援! 中井町こども家庭センター(なかいネウボラ)の拡充や、こども園での有機食材給食の導入で身体を育みます

メリット: 病気早期発見 & 子育て支援がさらに前進します!

高齢者・自治会

安心と地域のつながりを確実にします

相談体制の強化から、成年後見制度、日々のゴミ出しまで高齢者支援を進めます。自治会館をWi-Fi設置などで多世代型つどいの場に。地域通貨を健康づくりや地域活動と連動

メリット: 日常を大事に暮らせ、万が一の時の備えも!

交通・移動

オンデマンドバス拡充 & 帰宅支援ライドシェア

オンデマンドバス運行体制を拡充、交通結節点の整備による路線維持に加え、減便となった帰宅時、買物・通院に不便なエリアを補完するライドシェアの取り組みを始めます

メリット: 結節点やライドシェアは運転手不足にも対応!

公園・憩い

インクルーシブ遊具、ドッグラン & 生物多様性

中央公園にインクルーシブ遊具や水辺の広場の改良で過ごやすく。ドッグランも新設。蔽島湿生公園は自然共生サイトにし、中井ならではの生物多様性を観光資源につなげます。

メリット: 中井ならではの憩いがバージョンアップ!

障がいや言葉の壁を越えて

放課後デイ拡充 & 外国籍住民の共生強化

児童発達支援や放課後等デイサービスの町内展開や、中井やまゆり園との連携強化等で本町の障がい児・者の不足を補います。外国籍住民との共生体制の強化・児童生徒への教育支援を補います

メリット: 誰もが暮らしやすい、温かい地域づくりを推進!

防災・防犯

避難所TKB & Bの充実 & 防犯カメラ増強

避難所にTKB(トイレ・キッチン・ベッド)にB(お風呂)を加えます。在宅避難、ペット同伴、個別避難計画の見える化やこども学校防災支援の拡充、防犯カメラ増強で日々の安心も

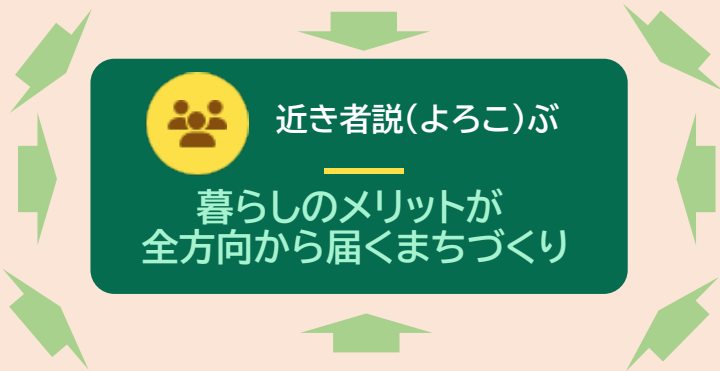
メリット: 日々の安心と災害時の自助共助を支えます!

道路・減災

幹線道路の舗装改良 & 倒木落枝への対応

主要幹線道路の舗装・改良を加速化。地域水源林整備や竹害対策、有害鳥獣対策を一体的に進めることで、倒木や落枝にも対応し治水治山の一助に、食と農、その担い手も守ります。

メリット: 毎日の通行が安全快適 & 町に活力!



～戸村ゆうじプロフィール～

昭和43年(1968)東京生まれ、中学まで千葉で育ち東京へ(千葉大付属中、都立両国高)。平成4年(1992)国際基督教大(ICU)卒、平成6年(1994)ICU院博士前期課程修了(比較文化修士)。新聞記者、重症心身障害者施設勤務を経て海外支援NGO団体職員。平成14年(2002)中井町民に

～中井町での活動～

中井保育園保護者と先生の会、中井小、中井中、秦野高PTA会長、町子連、社会教育委員、自治会役員。蔽島等の自然保護、読み聞かせ、交通安全、地域スポーツ、学校応援隊、わな猟免許取得等の地域活動及び町民支援活動
平成23年(2011)～: 中井町議会議員3期11年、正副議長、監査委員を歴任
令和4年(2022)～: 中井町第17代町長に就任(現在1期目)

～戸村ゆうじを応援しませんか～

戸村ゆうじ後援会は、町民生活の向上と中井町の発展を願う会員が、町民を応援し、町の発展に寄与する戸村ゆうじの活動を支援することを目的としています。



後援会申込

4年間の着実な歩み(生活密着ダイジェスト)

1 移住・定住・子育て支援

- ◆ 移住・定住支援の対象拡大等で「**転入増加**」傾向に転換
- ◆ **高校卒業(18歳)までの医療費無償化**を実現
- ◆ 給食費無償化・公会計化を維持し、食材高騰にも対応
- ◆ こども家庭センター「なかいネウボラ」開設、相談体制強化
- ◆ 子育て支援センターの2週ごとの土曜開庁



子育て支援センター



中井中での学校の未来を考えるワークショップ

2 こども・教育

- ◆ **全ての小中学校体育館に空調を令和8年度中に整備**
- ◆ GIGAスクール機器更新や電子黒板導入など教育環境整備
- ◆ 水泳授業の外部委託
- ◆ 学校のあり方検討を見据え学校等教育施設の改修修繕強化

体育館空調接地等工事以外の主な工事

中村小学校…南校舎改修工事、体育小山解体撤去工事、自動火災報知器設備更新工事、エレベーターリニューアル、グラウンド改良工事

井ノ口小学校…階段改修工事、B棟渡り通路改修工事、井ノ口歩道橋撤去工事、給水設備等修繕工事、石綿含有保温材撤去工事、体育館緞帳(舞台幕)交換

中井中学校…校舎改修工事、防煙シャッター交換工事、バスケットゴール修繕工事、階段手すり取付工事、体育館前スロープ設置工事、時計台・夜間照明撤去工事

給食センター…耐震改修工事、調理室床面ドライ化工事

3 シニア・医療・福祉の安心

- ◆ 中村下地区への**大型食料品ドラッグストアを誘致**
- ◆ オンデマンドバスの車輛更新や降車ポイント拡充で利便性向上
- ◆ **带状疱疹ワクチン費用助成**(任意・定期で令和6年度～400人以上)
- ◆ 加齢性難聴者補聴器購入補助制度の創設と拡充

4 防災・防犯・安全な街づくり

- ◆ **井ノ口旧県道再舗装を地域の声で前倒し**(令和6年度～350m)
- ◆ **主要交差点への防犯カメラ設置を開始**(令和7年度～4基)
- ◆ 自治会助成金の拡充と地区防災計画づくりの支援
- ◆ 酷暑期の防災訓練や町内一斉清掃の時期見直し

5 公園・環境・農業振興

- ◆ 中央公園への大型複合遊具および球場の整備
- ◆ 震生湖駐車場の整備と巖島湿生公園のバリアフリー化
- ◆ 農地災害復旧補助金の創出と強化



オンデマンドバス



中井中央公園の大型複合遊具



再舗装が進む旧県道

【生涯学習施設】立ち止まり、熟議し、共に決める。 ～ゼロベースの検討委員会と、前倒しで開始している学校のあり方検討～

生涯学習施設事業については、令和7年末から翌年1月の地域 懇談会等で慎重な意見や再考を求める声が多く寄せられたことから、**禍根を残す施設とならないよう、町として立ち止まる判断をしました**。現在、生涯学習施設等検討委員会で方向性をご審議いただいています。

POINT1 「建てるため」の検討委員会ではありません

検討委員会では、現在の設計を出発点に、課題点を見極めていただいています。「建てるため」の委員会ではなく、地域懇談会でもお伝えしたとおり、**全面的な見直しという結論も受け止めます**。合わせて、原材料価格等の高騰や補助金制度の変化も判断材料に加えており、答申を受け、町の方向性を決めるに当たっては、町内合意を図ります。

POINT2 議会に諮(はか)りながら進めてきました

基本構想・基本計画策定の委託業者との随意契約は、令和6年3月議会の当初予算審議で質疑を受け、当初予算は賛成多数で可決されました。令和6年9月から翌年6月まで議会特別委員会が設置され、「生涯学習施設の整備が町民にとって真に意義あるものとなるよう町と議会が一体となり、取り組んでいきます(議会だより212号)」とまとめられています。令和7年9月議会でも、建設予定地となる郷土資料館の解体に係る補正予算が全会一致で可決されています。

POINT3 随意契約についての住民監査請求

委託業者との随意契約は、予算審議を経て、町の判断のもと結びましたが、令和8年3月、その契約について住民監査請求がありました。監査の結果、令和6年度の契約は請求期間を過ぎていたため対象外(却下)、令和7年度の契約は、随意契約の選択が町に損害を与えていないとして、請求は退けられました(棄却)。監査委員からは、町民から違法性・不当性の疑念を抱かれることのないよう業務を遂行すべきとの付帯意見も示されました。町としても、この意見を重く受け止め、行政事務の適正性に真摯に向き合っており、

生涯学習施設事業については議会の議決を元に事業を進め、住民監査請求でも却下・棄却とされていますので、**ルール違反や不正は一切ありません**。

POINT4 学校のあり方検討と「応える町政」

これまでも学校修繕を重ねる中、今年4月から、教育委員会で、次代を担う中井っ子の学びと育ちを支える**学校のあり方検討を、前倒しして開始しています**。町内公共施設の6割を占める学校施設の最適化の議論と連動し、公共施設等総合管理計画の改定を通じ、公共施設再編に取り組みます。その過程で、町民の皆さまとの情報共有と合意形成を丁寧に進めていきます。

今回、一時停止を求める署名活動も、声をあげていただいたことを大事に受け止め、その反省をもとに、小さな自治体だからこそできる対話機会の再編と、公務の質を高めることにより、**真に「応える町政」を実現**してまいります。